



※本書は必ずAEDと共に保管してください

AEDが到着するまで

1 反応の確認 ▶ 助けを呼ぶ (119番通報) ▶ 呼吸の確認

2 胸骨圧迫

正常な呼吸が認められない場合、判断に迷う場合は、ただちに胸の真ん中(胸骨の下半分)を「強く」「速く」「絶え間なく」押します。

小学生～大人

約5cm
(6cmを超えない)
100-120回/分のテンポで押す

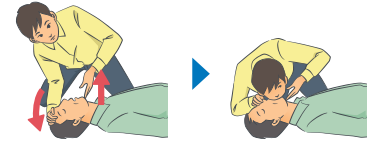
未就学児 (小学校入学前の子ども)

胸の厚さの約1/3の深さまで押す

できる方のみ
人工呼吸

気道を確保→胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返し行う

※ただし、新型コロナウイルス感染症が流行している状況においては、すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして人工呼吸は
● 小学生～大人には実施しない ● 未就学児には、救助者が講習を受けて技術があり意思があれば実施。感染防護具があれば使用する



AEDが到着したら

AEDが到着するまで ② を続けます

※このAEDはオートショックタイプです。

3 電源オン



未就学児の場合

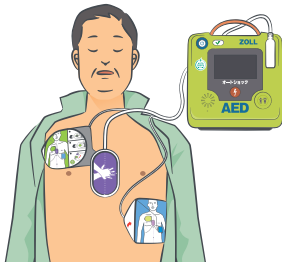
小学生～大人/未就学児切替ボタンを押す

切替ボタンが緑色に点灯していることを確認

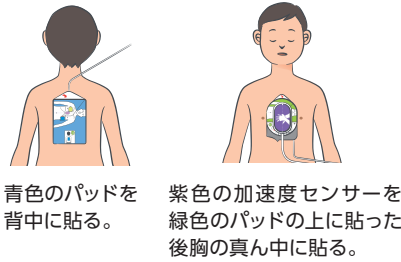


4 パッド装着

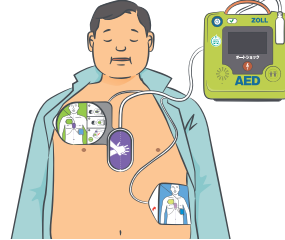
小学生～大人



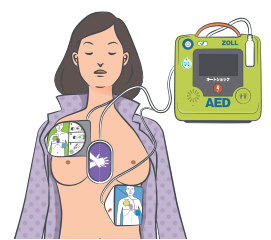
未就学児



体が大きい場合



女性

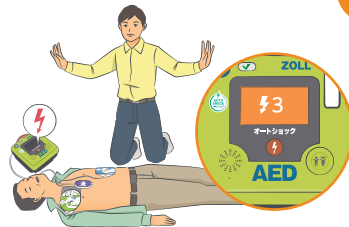


青色のパッドを背中に貼る。
紫色の加速度センサーを緑色のパッドの上に貼った後胸の真ん中に貼る。

5 電気ショック

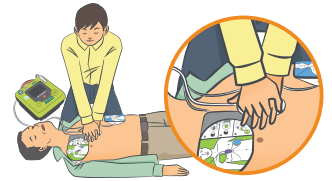
電気ショックが必要だとAEDが判断した場合は、3秒のカウントダウンの後、自動で電気ショックが実施される
(傷病者に誰も触れていないことを確認、ショックボタンの操作不要)

このAEDはオートショックです。



6 胸骨圧迫

音声案内、ディスプレイ表示に従い、加速度センサー部を押す(5cm以上の深さ、105回/分のテンポに誘導します)



未就学児の場合は、胸の厚みの約1/3の深さまで押します。

できる方のみ
人工呼吸

気道を確保→胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返し行う

※ただし、新型コロナウイルス感染症が流行している状況においては、すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして人工呼吸は
● 小学生～大人には実施しない ● 未就学児には、救助者が講習を受けて技術があり意思があれば実施。感染防護具があれば使用する



新型コロナウイルス感染症流行時の救命処置について

新型コロナウイルス感染症が流行している状況においては、すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして対応してください。

- 反応の確認や呼吸の観察時に、傷病者の顔にあまり近づきすぎない
- 胸骨圧迫開始前に、傷病者の鼻と口にはンカチ、タオル、マスク、衣服などをかぶせる
- 人工呼吸は小学生～大人には実施しない。未就学児には、講習を受けて技術があり、意思があれば実施。感染防護具があれば使用する
- 傷病者を救急隊員に引き継いだあとは、速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。傷病者の鼻と口にかぶせたものには直接触れないようにし、廃棄するのが望ましい

※厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた 市民による救急蘇生法について(指針)」に基づく



※本書は必ずAEDと共に保管してください

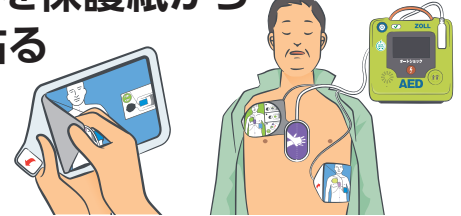
POINT1 小学生～大人/未就学児* 兼用パッド

*未就学児とは、小学校入学前の子どもを指します

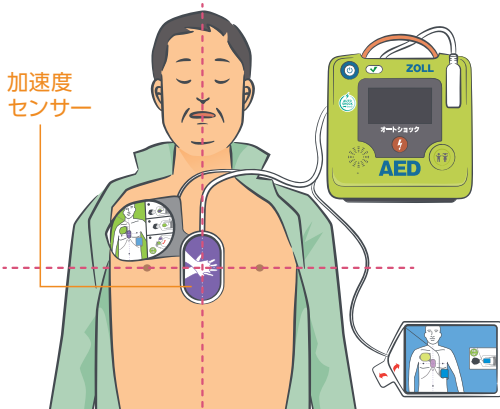
① 緑のパッドと紫のセンサーを保護紙からはがす



③ 青のパッドを保護紙からはがして貼る

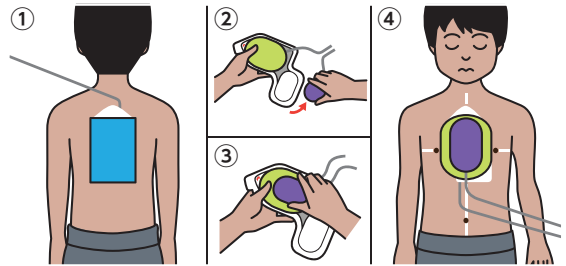


② センサーで位置決め



紫の加速度センサーが胸の真ん中(胸骨の下半分)に位置するようにし、加速度センサーと緑のパッドを貼る。

未就学児*の場合



- ① 青のパッドを保護紙からはがし、背中に貼る
- ② 紫の加速度センサーを緑のパッドから切り離し、保護紙からはがす
- ③ 紫の加速度センサーを緑のパッドの上に貼る
- ④ 緑のパッドを保護紙からはがし、胸の真ん中に貼る

POINT2 胸骨圧迫ヘルプ機能

ガイドライン
2020 対応

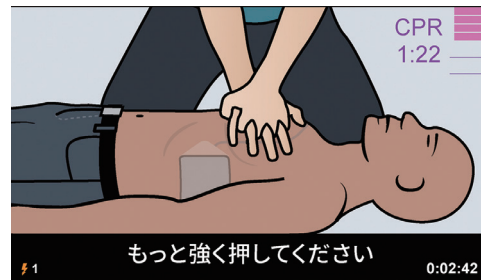
ZOLL AED 3*は耳が不自由な方にもご使用いただけます

① 胸骨圧迫深度インジケーター



救助者の実際の胸骨圧迫の深さを棒グラフでリアルタイムに表示します。圧迫が適切な深さ(5～6cm)であるかがひと目でわかります。

③ イラスト・メッセージ表示、音声案内



カラーイラストに加え「もっと強く押しください」「胸骨圧迫は有効です」などの音声案内とメッセージ表示で、適切な胸骨圧迫をサポートします。

② 胸骨圧迫リズム音

105回/分のメトロノーム音で、適切な胸骨圧迫テンポ(100～120回/分)に誘導します。



⚠ ZOLL AED 3 オートショック 使用時の注意点

このAEDはオートショックタイプです。電気ショックが必要だとAEDが判断した場合、カウントダウンの後に自動で電気ショックを実施します。傷病者に誰も触れていないことを確認してください。AEDが自動で電気ショックを実施するため、救助者がショックボタンを押しても電気ショックは実施されません。

未就学児用モードは、未就学児に対して使用してください。未就学児用モードでご使用の場合は、

- 小学生～大人 / 未就学児切替ボタンを押し、切替ボタンが緑色に光っていることを確認してください。
- 胸骨圧迫の深さは測定されず、棒グラフも表示されません。

なお、未就学児蘇生の胸骨圧迫の適切な深さは胸の厚みの1/3です。

【選任製造販売業者】

旭化成ゾールメディカル株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋2-1-1 興和西新橋ビル
tel.03-6205-4544 fax.03-6205-4923
www.ak-zoll.com

旭化成AEDコールセンター(24時間受付)

0800-222-0889



一般的名称: 非医療従事者向け自動除細動器
販売名: ZOLL AED 3 オートショック自動体外式除細動器
医療機器承認番号: 30400BZ100001000
クラス分類: 高度管理医療機器(クラスⅢ)/特定保守管理医療機器